1か　恥ずかしい生活、恥ずかしくない生活

ローマ 1:16〜17　私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

1. 恥ずかしい生活を生きる者たちがいます

1) 強大国であったローマが世界の災いをもたらしました
2) パリサイ教会が福音を防ぎました
3) 目の前に置かれた小さな利益を成功に思う人たちがいました
4) 成功者たちは災いを知らずに生きていました
5) 知識人たちは福音を軽蔑しました

2. 福音運動のために侮辱を受けるのは恥ずかしくない生活です（ロマ 1:16）

1) 福音は信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です
2) ユダヤ人とギリシヤ人にも福音が伝えられました
3) すべての民に福音が伝えられました

3. パウロは「義人は信仰によって生きる」と告白しました（ロマ 1:17）

1) 行ないではできないことです
2) 信仰でできることです

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

03

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

2か

救われない人間、救われる人間
－ 原罪を知らないユダヤ人と宗教人

ローマ 3:10、23　それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもいない。
（10）すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、（23）

1. 原罪の始まりです

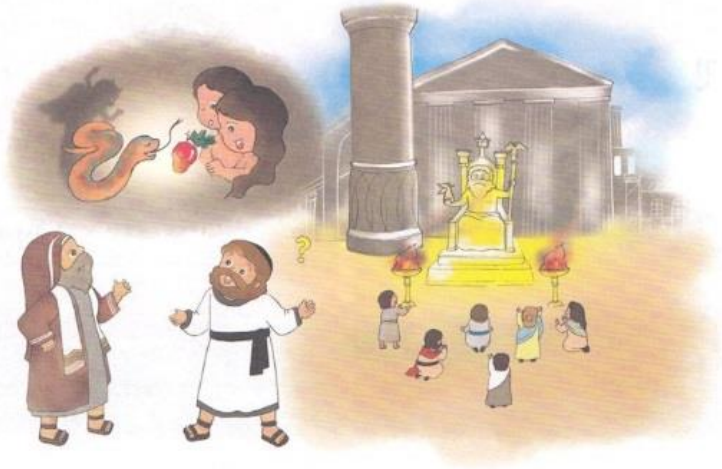
1）蛇が女をだまして、神様のみことばに不従順して善悪の知識の木の実を食べるようにさせました（創 3:4～5）
2）ネフィリム時代に人の罪がこの世に満ちていました（創 6:4～5）
3）バベルの塔を建て、空に届くようにとし、名をあげようとしました（創 11:1～8）

2. 原罪の過程です

1）シャーマニズム文化にとらわれました（使 13:1～12）
2）占いの文化にとらわれました（使 16:16～18）
3）偶像文化にとらわれました（使 19:8～20）

3. 原罪の結果です

1）悪魔の子どもになりました（ヨハ 8:44）
2）偶像を崇拝するようになりました（出 20:3～5）
3）精神的な苦痛の中で生きるようになりました（マタ 11:28）
4）肉体的な苦痛の中で生きるようになりました（使 8:4～8）
5）死んだ後に審判を受け、地獄に行くようになりました（ルカ 16:19～31）
6）すべての霊的問題を次世代に受け継がせるようになりました（マタ 27:25）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

10

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

3か　神様の愛を明らかにされました

ローマ 5:8　しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

1. 神様が契約をくださいました

1）女の子孫の契約をくださいました（創 3:15）
2）箱舟の契約をくださいました（創 6:14）
3）カナンの地の契約をくださいました（創 12:3）
4）血のいけにえの契約をくださいました（出 3:18）
5）インマヌエルの契約をくださいました（イザ 7:14）
6）キリストの契約をくださいました（マタ 16:16）

2. 契約が成就されました

1）カルバリの丘の十字架ですべてを成し遂げられました（ヨハ 19:30）
2）キリストが罪人である私たちのために死なれました　（ロマ 5:8）

3. その理由があります

1）義人は一人もいないためです（ロマ 3:10）
2）福音は信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力であるためです（ロマ 1:16～17）
3）私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられるためです（ロマ 5:8）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

17

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

4か　誰も引き離せない救いの力

ローマ 8:31～39　では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましょう。神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。私たちをキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。「あなたのために、私たちは一日中、死に定められている。私たちは、ほふられる羊とみなされた。」と書いてあるとおりです。しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

1. 滅亡と救いの５つの条件があります

2. 神の方法があります。（ロマ 8:2）

- キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、私たちを解放しました

3. キリストの愛からは、誰も引き離すことができません（ロマ 8:31～39）

- ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、私たちの味方であるなら誰も敵対できません

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

24

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ☐ 献金
- ☐ 筆記用具
- ☐ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ☐ 週報を読む

一週間握るみことば

5か　永遠なこと

ローマ 16:25〜27　私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

1. 神様のみことばと人間のたましいは永遠です

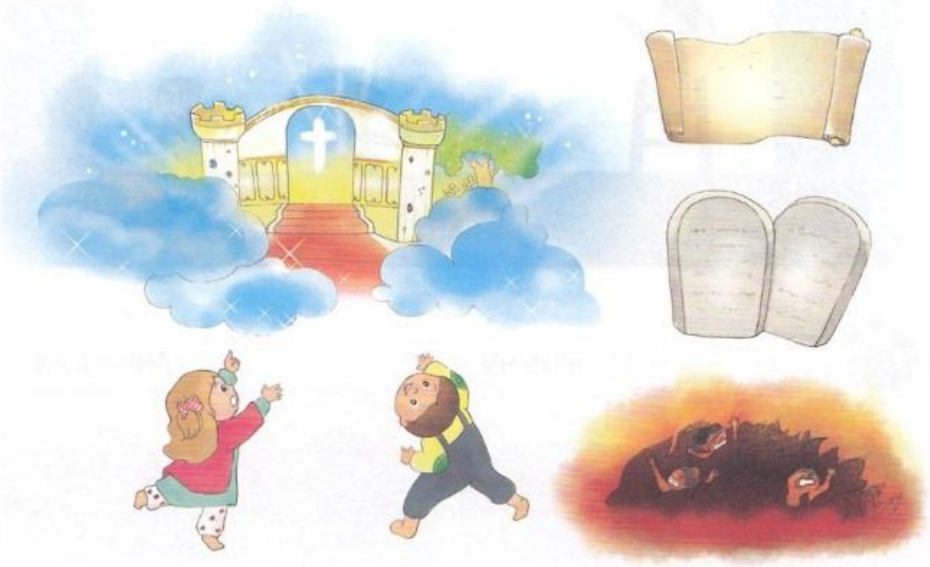
1）はじめに、神様がみことばによって世界を創造されました（創 1:1〜13）
2）草は枯れ、花はしぼむが、私たちの神のみことばは永遠に立ちます（イザ 40:6〜8）
3）ことばは人となって来られました（ヨハ 1:1〜14）

2. 滅亡（地獄）も永遠です

1）金持ちとラザロのたとえを通して言われました（ルカ 16:19〜31）
2）悪魔とその使いたちのために備えられた永遠な火です（マタ 25:40〜41）

3. 救い（天国）も永遠です（ロマ 16:25〜27）

1）世々にわたって長い間準備されました
2）とこしえまであります



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

31

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ☐ 献金
- ☐ 筆記用具
- ☐ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ☐ 週報を読む

一週間握るみことば